

医療事故情報センター総会記念シンポジウム
医療事故調査制度はどうあるべきか
-制度施行後3年の実情から考える-

2019年5月25日(土)

13:00-16:30(開場12:45)

ウイנקあいち(愛知県産業労働センター)

10階1001会議室(定員150名)

事前申込不要・入場無料

※当日のプログラム等は裏面をご参照ください。

主催 医療事故情報センター

お問合せ 同事務局 TEL. 052-951-1731 FAX. 052-951-1732

医療事故情報センターでは、上記要領で総会記念シンポジウムを開催いたします。

今回は、運用が開始されて3年を経過した医療事故調査制度を取り上げ、その運用状況を振り返ります。

パネリストには、この制度に実際に関わっておられる医療事故調査・支援センター、医療事故調査等支援団体、医療機関の医療安全管理部門担当者、患者団体の方々をお招きし、それぞれの立場から見てきた運用上の課題や今後の展望についてディスカッションします。また、各地の医療問題弁護団・研究会の皆様を対象に実施した、医療事故調査制度の実情についてのアンケート結果も集約してご報告いたします。

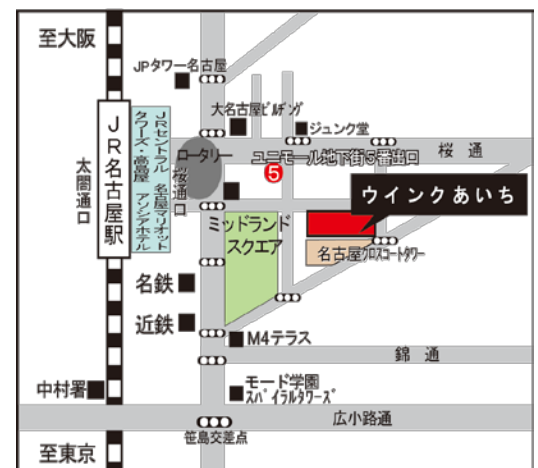
当日は、シンポジストはもちろん、医療事故調査制度の運用に関わっておられる弁護士、各方面の方々からも会場発言をいただき、よりよい医療事故調査制度のあり方を考えたいと思います。是非、ご参加下さい。

【会場案内】

ウイנקあいち(愛知県産業労働センター)

名古屋市市中村区名駅4丁目4-38

JR・地下鉄・名鉄・近鉄名古屋駅(桜通口)より東へ徒歩5分



□◆□◆□ プ ロ グ ラ ム □◆□◆□

総合司会 水野 功 (医療事故情報センター 常任理事)

(第1部) パネリスト報告 -医療事故調査制度の実情について

- 13:00 患者の視点から
永井裕之さん (患者の視点で医療安全を考える連絡協議会 代表)
- 13:20 患者側代理人の視点から (アンケート結果のご報告)
柄沢好宣 (医療事故情報センター 囑託)
- 13:30 医療事故調査・支援センターの視点から
木村壯介さん (一般社団法人日本医療安全調査機構 常務理事)
- 13:50 中央医療事故調査等支援団体等連絡協議会の視点から
平川俊夫さん (公益社団法人日本医師会 常任理事)
- 14:10 医療の現場の視点から
廣井透雄さん (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
副院長・医療安全管理部門長)
- 14:30 医療の現場の視点から
伊藤進一さん (一般社団法人兵庫県医師会
医療事故調査支援委員)

-休憩-

(第2部) パネルディスカッション (15:00~)

■コーディネーター 増田聖子 (医療事故情報センター 副理事長)
柄沢好宣

■パネリスト 永井裕之さん 木村壯介さん 平川俊夫さん
廣井透雄さん 伊藤進一さん

(総括) 柴田義朗 (医療事故情報センター 理事長)